

またあした居宅介護支援事業所 事業報告

平素はまたあした居宅介護支援事業所の事業運営にご協力いただき、厚くお礼申しあげます。

令和6年度は、ケアマネジャ4名と事務員1名でスタートしたものの、ケアマネ1名退職、ほぼケアマネ3名での一年間となりました。

前半は引き継ぎ業務などの為、件数的には伸び悩みましたが、秋以降少しずつ件数を増やしてきており、特に要支援者の件数はかなり増えてきています。昨年度は検討を一旦休止していた守山市の介護予防支援の指定申請ですが、インセンティブ交付金がより多く付く割合にまで要支援者の件数が増えている為、今年度は指定申請を検討していきます。申請が通れば一人当たりの単価が増えますが、実地指導を受ける範囲も多くなることを意味しています。引き続きケアマネジャとして行う一連の業務について、事業所内での点検を徹底していくよう努めていきます。

新しいケアマネジャの募集をかけていますが、応募はない状況です。ケアマネジャの仕事の楽しさを広めるべく、インスタグラムの投稿なども始め、草の根運動も行っていますが、成果が出るのはもう少し先になるのかもしれませんが。またあした居宅介護支援事業所が、今いるメンバーだけで終わらず、新しいケアマネジャを迎えて、さらに継続できる事業所であることを目標として、今後も肅々と、成果を出し続ける事業所であることを目指していきます。

成果① 利用者の自立意欲を高めること

「自分にもまだこれが出来る」「自分にも役割がある」「自分らしく過ごせる」「楽しい」「安心」「穏やか」と思ってもらえる様に、利用者を支援していきます。なかなか着手出来ないでいるL I F Eの事も、次の制度改正には乗るものと思いながら検討を考えます。

成果② 書類を含めた環境整備を進めること

環境整備を行うことにより、新しいケアマネジャや事務員を迎えるために、整った環境を皆で保つことを共有することはもちろん、事業所全体で同じ方向を向いて目標を達成することが出来る様にしていきます。

今年もまたあした居宅介護支援事業所として進むべき方向を見間違えることなく事業を進めていけるよう、ご指導・ご協力いただきますようよろしくお願いします。

またあした居宅介護支援事業所

またあしたみそら 事業報告

平素は、またあしたみそらの事業運営にご協力頂き、誠にありがとうございます。厚くお礼申し上げます。
令和6年度も「またあしたみそら」は、ご利用者様にとって“また明日も来たい”と思っていただけるデイサービスを目指し、心地よく笑顔で過ごしていただける空間づくりに努めてまいりました。「安心」「笑顔」「楽しみ」をキーワードに、スタッフ一人ひとりが日々の支援に真摯に取り組んできた一年でした。

今年度は特にカンファレンスの充実とスタッフ間の連携を進めたことで、帰宅願望の強いご利用者様への対応が改善され、午後からも安心して過ごしていただける日が増加しました。日々の関わりの中で、ご利用者様の表情に笑顔が戻る場面も多くみられるようになり、大きな成果となりました。

また、入所などの稼働率低下を見据え、新規ご利用者様の受け入れにも力を入れました。どのようなご利用者様に対しても柔軟に対応し、積極的に受け入れ、より多くの方に「みそら」を選んでいただけるよう取り組みました。

さらに機能訓練加算の算定に向けた準備にも力を入れ、他施設の見学や機能訓練内容の選定、訓練スペースの整備を進めました。ご利用者様の生活機能の維持・向上を目的に、個別機能訓練計画書の作成訓練の実施体制の整備にも着手しました。しかし、ケアマネージャーやご家族様への説明や調整に時間を要し、加算算定の開始が遅れたことは反省点であります。

感染対策については、引き続き「基本の徹底」と「安心の提供」を重視し、手指消毒・検温・換気・備品消毒・体調観察などを継続実施しました。日々の積み重ねが安心して通える環境の維持につながったと考えています。

【令和7年度の取り組み】

次年度は、より質の高いケアとチーム支援を実現するために以下の点に重点を置いて取り組みます。

- ・カンファレンスの計画的実施による情報共有の強化
- ・スタッフ間の連携の向上とケア内容の統一（マニュアル作成や役割の明確化）
- ・記録の精度・質の向上
- ・機能訓練加算の安定した運用に向けた体制整備

今後も「また明日も来たい」と思っていただける場所であるよう、スタッフ一丸となってサービスの質の向上に努めてまいります。

今後ともご指導・ご鞭撻のほど、よろしくお願いします。

またあしたみそら

またあした伊勢 事業報告書

平素は、またあした伊勢の運営にご協力いただきありがとうございます。厚くお礼を申し上げます。

個別機能訓練や要支援の方の受け入れと、大きな変化があった1年が過ぎました。室内のレイアウトや個別機能訓練の際のスタッフの動きや利用者様の対応、半日利用の方の対応等、みんなで話し合い動き出しました。みなさんのお力をいただき、ここまですることが出来ました。ありがとうございます。

またスタッフのみなさんのおかげで、利用者様、ご家族様、ケアマネージャーさんから評価いただける事業所であること誇りに思います。「担当の利用者さんに手厚いケアをしてもらったので、次もぜひ利用者さんをお願いしたい」とケアマネージャーさんからお話をいただけること、本当にすごいことだと思います。今も新規利用者様のお話が途切れることなくいただけているのは、スタッフのみなさんのおかげです。

最近特に伊勢のチーム力の強さを感じます！スタッフ一人一人がケアについて考え、上手くいった部分、上手くいかなかった部分と、利用者様の対応について細かく記録に落とし、みんなで話し合うことで次のケアに繋げていくことができ、より良いケアになっているのではないかと思います。

休憩について、今までは休憩時間内に記録をしていました。また、記録渋滞もおき、記録をするのに休憩時間が削られたり、帰りが遅くなってしまうことが当たり前になってしまっていました。以前から休憩時間に記録をすることについて意見をいただいていたが、見直しを出来ていませんでした。今回、タブレット端末を1台増やしていただき、体操の時間や利用者様がコーヒーを飲まれる時間、レクの時間等、3台のタブレット端末を使用し記録を打っていただくことを実施し、休憩時間の確保、就業時間が過ぎても残ることがないように現在改善に努めています。ただ、まだ徹底できていない状態の為、スタッフ同志が声をかけ合いスタッフみんなで改善に向け取り組んでいきたいと思っています。

大事にしたい部分は変えることなく、改善しないといけない部分は、みんなで話し合いながらスピーディーに改善していきたいと思っています。利用者様にとっても、スタッフにとっても居心地の良い場所になるよう、これからもチームのみなでまたあした伊勢を作っていききたいと思います。今後もしもご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

デイホーム またあした伊勢

またあした栗東 事業報告

平素は、またあした栗東の事業運営にご協力いただきありがとうございます。
厚くお礼申し上げます。

今年度は個別機能訓練が開始し、新しい事の始まりに職員みんなで取り組んでまいりました。個別機能訓練とはいったい何をするものなのか、どのように進めるのか、時間はどのくらい必要で、どこで行うのか等1つ1つ課題がありました。経験のあるスタッフに意見を聞いたり、看護師の皆さんの知恵をお借りしたり、個別機能訓練が本格的に導入されるまでは大変でした。いざ始めると、居宅訪問へ3か月に1度伺い、計画書を見直すことが必要になり、スケジュールの管理を含めまだまだスムーズにはこなせていない現状です。ただ、利用者様からは「運動できてうれしい」「ここにきて運動した後は体が楽になる」などの言葉を頂くこともありスタッフのモチベーションにもなっています。

正直、これでいいのだろうか？と体操のプログラムや取り組んでいる内容に疑問を持つこともあります。個別機能訓練開始から1年が経過し今後は個別機能訓練をスタッフの皆さんと話し合いながらもっと意味のあるよりよいものにしたいと考えています。

そんな中でまたあした栗東の稼働率がなかなか上がらず、今年度も変わらず新規ケース獲得へ苦戦してまいりました。週5日利用されていた方の利用中止が続き、難しいケースでやむを得ず利用をお断りする事になったこともありました。現在はお試し利用のお話を頂くこともありますが、利用までつなげることが出来ず、求められているニーズが何かを日々考え、手探りで探しています。医療面での対応を求められることも増え、スタッフ1人1人のスキルが求められる場面も以前より多くなったように感じています。時代の流れもあり、ケアマネジャーとの連絡手段がラインになったり、医療アプリを使用したものになったりと変化に戸惑う事もありましたが、連絡がスムーズに行えることで多職種の連携もできご利用者様への対応も素早く行う事ができたのも事実でした。こまかな対応ができること、レスポンスが早いことは事業所にとって大事な印象の入り口であると思っています。現在なかなかスムーズに対応ができていないこともあるので、今後電話や相談業務などの対応がスムーズに行えるような体勢を作っていきたいと思っています。

また、自分自身今年度もいろんな葛藤を持ちながら悩み進んできた1年だったように思います。またあしたにお世話になり約10年。まだまだ成長できず、未熟なままではありますが今後も頑張りたいと思いますので、今後もし指導ご鞭撻のほど宜しくお願いいたします。

またあした栗東

令和6年度 事業総括

平素はまたあしたの事業運営にご支援いただき、ありがとうございます。

令和6年は三年に一度の、公的介護保険制度の改正にあたる年でした。主な介護報酬改定ポイントとしては、①地域包括ケアシステムの深化・推進、②自立支援・重度化防止、③良質な介護サービスの効率的な提供と働きやすい職場づくり、④制度の安定性・持続可能性の確保 となります。また、実施が義務化された事項（高齢者虐待防止の推進、認知症介護基礎研修の受講の義務付け、感染症対策の強化、業務継続に向けた取り組みの強化（業務継続計画（BCP））もあり、通所介護の通常業務とは別に、年間を通しての実施が義務化された年でもありました。『研修・訓練の実施』が求められ、どのような形にすべきかを思案しました。特に“業務継続計画（BCP）”に関しては、マニュアルを一旦整備したものの、それをどう現場に浸透させればいいのか、手探り状態でした。また、現場の現状を鑑みると、準備等業務負担を強いてしまうという思いも正直ありました。色々な方の助言・協力があり、何とか研修・訓練の形を年度内に実施することができました。実施をし、参加された方の感想も読ませていただき、改めて感じたことは、『ご利用者様を守るため、スタッフを守るため、事業所を守るため』、不測の事態に備える事、万が一不測の事態が起こった時にスタッフ全員が迅速に動くことができることで、ご利用者様を守るための事業運営が継続できることを感じました。感染症はいつでも起こりえる事、また、自然災害もいつ起きるかわからないことを踏まえ、日ごろの備えの必要性を改めて感じることができました。

また、令和6年度は全事業所、個別機能訓練の導入に踏み切ることができました。またあした事業所で個別機能訓練に取り組むこと…以前なら縁遠い話と思っていましたが、ご利用者様やご家族の思いを踏まえた在宅支援を考えた際に、個別機能訓練に取り組むことは、ご利用者様の『思い=やりたい』を叶えることができる一役を担うことができると感じます。アセスメント、居宅訪問、個別機能訓練計画書作成、モニタリング等 PDCA サイクルに基づき、行うべきことは多岐にわたりますが、多職種連携し引き続き取り組んでいきたいと思えます。

行事においては、令和元年を最後に実施を控えていた餅つき大会を再開することができました。スタッフ側の経験者が少なくなる中、手探りでの開催となりましたが、何とかスタッフの知恵をお借りしたり、過去のデータから思い出し、各事業所で実施することができました。年末に近い開催となりましたが、幸い天候にも恵まれ、ご利用者様の笑顔と意欲を見ることができました。何より、怪我無く、安全に行えたことに安堵しております。

またあした伊勢事業所においては、通所介護において運営指導が行われました。業務継続計画（BCP）が義務化され、初めての運営指導となりましたが、現行のものでよいとのお話でした。今後は現状に合わせた定期的な見直しは必要ですが、一先ず方向性はこの形でよいとの判断で安堵いたしました。前年度のまたあしたみそら事業所においても、様々な項目において“根拠”を求められていましたが、今回もそのことを強く感じました。今後の事業運営においても、意識して取り組む必要性を感じました。

各事業所の昨年度の総括を、私の立場からさせていただきたいと思えます。

またあした栗東事業所、いち早く個別機能訓練加算の算定に取り組み、早一年立とうとしています。初め

での取り組みであり、手探りの中、システムの導入から一日のプログラムの見直し、環境の見直し等、取り組まれました。大変な作業ではあったとは思いますが、高い割合でご利用様にサービスを提供することができており、また、システムもうまく稼働していると感じます。その後続いた、またあした伊勢事業所やまたあしたみそら事業所の個別機能訓練の導入のモデルケースとなり、他事業所が学ぶ機会となりました。引き続き、運用をお願いしたいと思います。

また、個別対応が必要なご利用様の受け入れを行い、声かけや接する際の距離感等ソフト面やその方の居心地の良い場所の提供や入浴のタイミング等のハード面をその方のその時の状況に応じて、話し合い、対応されていたと思います。また、医療的な対応が必要なご利用様のニーズの増加も見られています。

医療的ニーズの高いご利用様の対応や、個別対応が必要なご利用様の対応に関して、デイサービスとして出来る事・出来ない事を見極め、ケアマネジャーや医師、訪問看護等他サービスと連携が必要になってくると思います。必要な情報をご家族を含め関係者の方に素早くリターンし、現状を共有し、チームとして対応を一緒に考えていくことが求められると思います。

稼働の波はありますが、包括支援センターを含めた地域のケアマネジャーとのつながりも増えてきていると思います。『またあした栗東事業所には、こういう人をお願いしたい』といった強みをアピールしてほしいと思います。

またあした伊勢事業所、令和6年度は総合事業への参入(リハビリデイ)を試みました。一時期、稼働の低下が見られ、地域のニーズがどこにあるのか悩んだこともありましたが、他事業所で実施している、『ご利用様がどのような状態にあっても、利用でき、途切れない』サービスを目指し、令和6年11月より総合事業への参入が実現しました。現在5名の方のご利用があり、お話をいただく機会も増えました。新規居宅介護支援事業所にもまたあした伊勢のサービスを知ってもらう一役にもなっています。

また、引き続きご利用様に対しきめ細やかな対応がなされています。それを可能にしているのは、スタッフ一人一人が日常の記録や話し合いからご利用様の状況をしっかりと把握しており、また、その情報をもとに現場でもご利用様の姿をとらえ、対応し、その状況を記録に落として共有できていることがあげられます。

現在は、スタッフの業務改善として、サービスの質や記録の精度は維持しつつも、スタッフの休憩時間もしっかりと確保するために、現場内でいかに記録をするかに取り組んでいます。このことを可能にするには、スタッフ一人一人の現場での意識を高くし、努力が必要です。サービスの質の維持も測りながら、スタッフ全員が等しく働きやすい職場にすること。それを叶えることができるスタッフがそろっていると思います。

またあしたみそら事業所、認知症状の強いご利用様の受け入れを行い、その方の心の動きに合わせた対応に心がけました。帰宅の訴えが強い時には、「どのようにスタッフ間連携を取って対応するのか」から始まり、徐々にその方の心の動きに合わせ、「どのタイミングでどのサービスを提供するか」といった対応が浸透していきました。一時期は時間短縮の対応が多く見られていましたが、現在は安定したサービスの提供がされており、その方にとってまたあしたみそら事業所が居場所になっているのではないかと感じます。その努力は、ケアマネジャーにも伝わり、『またあしたみそらなら、困難なケースでも対応してもらえる』といった評価につながっているのではないかと感じます。

また、またあしたみそら事業所は、全事業所の中でも様々な形態で働いているスタッフが大勢います。様々な事情があっても、この仕事を続けていただける。とてもありがたいことです。今後は、サービスの質の維

持・向上を図るため、様々な働き方をしているスタッフに対して、現場での情報をどう記録に残し、どうスピーディに情報を共有できるかを全スタッフで考えていただきたいと思います。

またあした居宅介護事業所、新規ご利用者様獲得に取り組んでくださいました。地域のニーズを読み取り、各事業所に情報共有をしていただいたことは、各事業所の運営の方針を考える上で、大きな力となりました。今後もさらなるご利用者様の在宅支援のサポートをお願い致します。

令和6年度 事業計画について

皆さんにとって『仕事』とはどういう意味があるでしょうか？

その答えは、人によって異なり、多様な側面があると思います。

生活費の確保や将来への備え等物欲的なニーズを満たすための手段とする経済的な側面、生きがいや充実感のための精神的な側面、他者とのつながりや他者からの承認や評価を通して所属感や一体感を満たす手段としての関係性の側面、自己肯定感や満足感、達成感を得る手段としての自己実現の側面…色々考えられます。

私も、またあしたに入社した時には、経済的な側面もありましたが、知り合いが誰もいない状況下での就職であったために、関係性の側面を求めていたと思います。けれど、どこかで、「仕事はお金を稼ぐ手段で、しんどくても仕方がない」と考えていました。

どのような理由であっても間違いはないですし、意味は変わっていくこと少なくありません。

私が入社して数年たったころ、事務局長から言われた言葉の一つとして、「家庭も人生。仕事も人生。仕事の占める割合は、一日の三分の一にもあたる。人生は楽しまなければ意味がない。だったら仕事も楽しみたいと勿体ない」がありました。ただ、続きがあり、「楽しむには仕組みを作らなければならないし、自分の努力が必要」との言葉もあり、その言葉は今も私の仕事の原動力になっています。

皆さんが『またあした』で『仕事がしたい』と思って下さっている限り、皆さんにも「楽しむ」ことをしてもらいたいと思っています。ただ、上記にもあるように、個々の努力は必要です。皆さんが、仕事として自ら選んで続けている場所は、自分たちの考えや行動によって、いかようにもなると思います。別紙添付している資料は、現在も初任者研修で使用しているもので、お持ちの方もいらっしゃると思います。また、持っていない方も見聞きした機会がある方が多いのではないのでしょうか。実はこの資料は、私が入社した時から使用しているものです。途中、データ化されましたが、中身はほぼ、変わっていません。介護保険の改正や時代の流れもあるので、通常であれば変化してもおかしくはないのですが、またあしたの大切なことがここには詰まっていると私は考え、そのまま使用しています。ぜひ、今一度、スタッフの皆さんには目を通していただき、またあしたでの仕事を一緒に考える一助になればと思います。

皆さんの『またあしたでの仕事』がより充実したものになるために、研修の充実を図りたいと思います。内部研修に関しては、初任者研修や法定研修を通しての知識の向上を図りたいと思います。各事業所、スタッフの人数も増え、ライフスタイルも違うことから、なかなか全スタッフが集まっての研修が難しい現状があります。研修会場の変更や開催回数を増回するなど、参加しやすい研修作りに取り組みたいです。ま

た、外部研修への参加も積極的に推進していきたいと思います。

個別機能訓練に関しては、ようやく全事業所が算定をスタートしました。従来の日常生活機能訓練に加え、パワーリハビリテーションも行い、ご利用者様の筋肉や関節を動かしやすくすることで日常生活の活性化を目指すべく、各事業所、システムを大いに活用していただきたいと思います。

最後に、一つエピソードを紹介させていただきます。

またあした伊勢事業所で、個別機能訓練が始まり、2回目の居宅訪問に行った際の出来事です。その方は、歩行器を使用し室内を歩いており、時折室内を歩行器で歩く練習をされていたと聞き取りをしていました。2回目にお伺いした際には、ご家族より、「今まで室内を1周だけであったが、歩くことができる周数が多くなった」と聞き取りができました。また、以前されていた編み物を自宅でもご家族が進めることで再開するようになったとのことで、その場でされるお姿を見せていただきました。もともと、作業に取り組まれる際には集中してこだわって取り組まれる方ではありましたが、編み物をされている姿を見たことがなく、するすると編まれるご様子に感動しました。個別機能訓練の成果だけとは限らないのですが、それまでの生活とは明らかに変化が出ていること、その方のできる可能性を見ることができたことに、心が震えました。大げさかもしれませんが、自分たちの関わり次第で、その方の生活の充実が変わることもあると感じ、自分自身、もっと視野を広げてご利用者様に関わっていきたいと思えた出来事でした。

今後とも、ご指導・ご鞭撻のほど、よろしくお願いいたします。

統括責任者



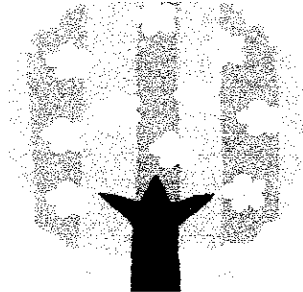
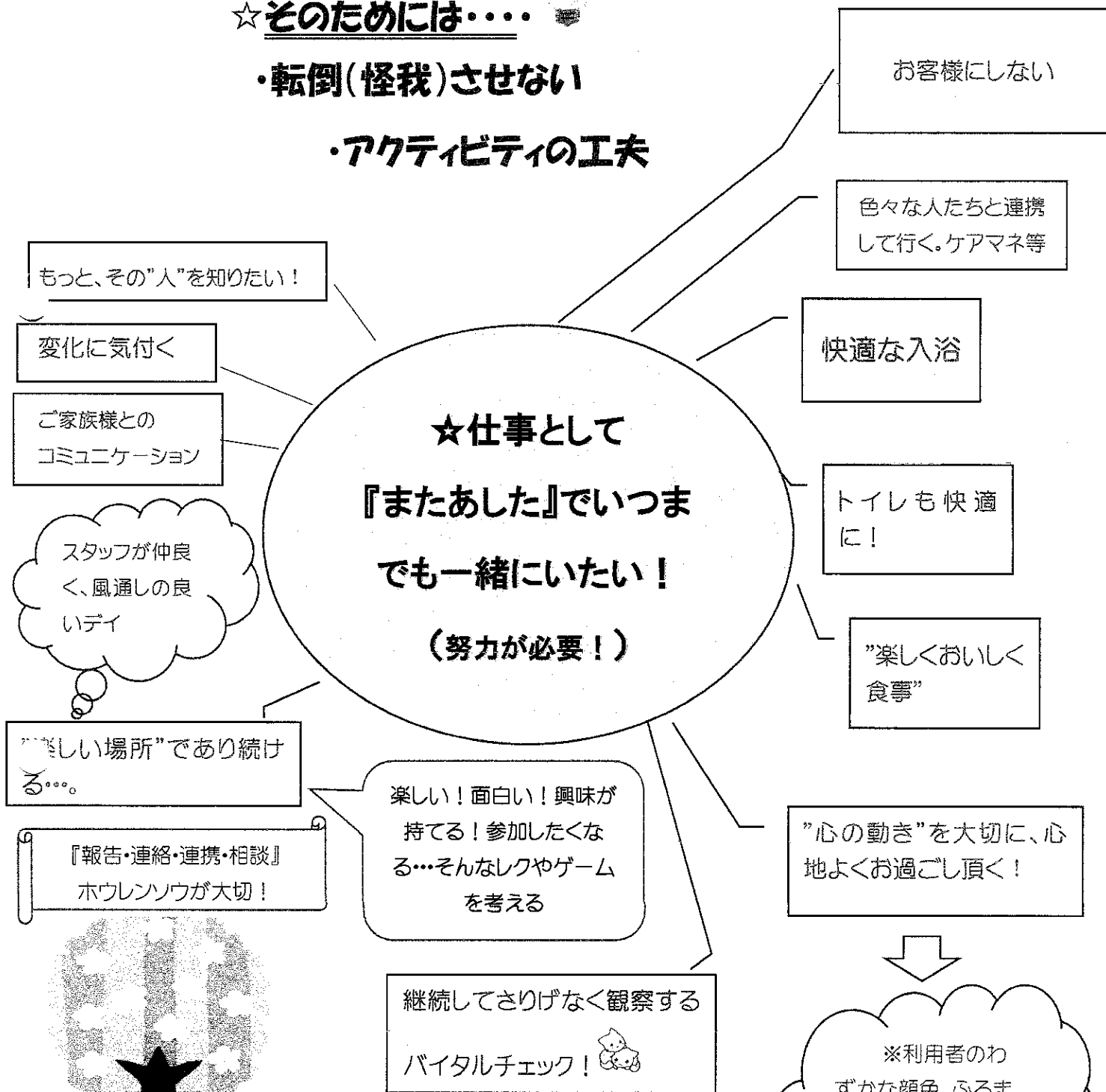
☆利用者様と笑顔で楽しくいつまでも一緒にいたい！



☆そのためには……

・転倒(怪我)させない

・アクティビティの工夫



※年を重ね、介護が必要になっても、ずっと自分らしく生きたい！利用者の方のそうした想いをしっかりと受け止め、その方にとって必要なサポートを考える事から介護が始まる…

